

わたしたちの 職場体験！

わかばケアセンターで
職場体験をして
きました。

体験したこと

宮山・東条 車いすでお互に押す側と乗る側を体験しました。思っていたより真っすぐ進まないし、坂道は勢いがつきそうで怖かったです。4人くらいでカード遊びをしたのですが、勝ったり負けたり、楽しかったです。

宮山 利用者さんとバスケットボールの話をしました。リハビリで行うストレッチの見学や、飲みやすいようにとろみをつけた麦茶の試飲もしました。

東条 利用者さんとの将棋では勝てそうなところで時間がきてしまったのが少し心残りです(笑)。

体験した感想

宮山 職員さんの
気配りがすごいな
と思いました。最初
はコミュニケーションをと
るのが難しかったけど、職
員さんの動きを参考にしたり、アドバ
イスをもらったり
しながらだんだん

今後に生かしたいこと

宮山・東条 ぐいぐい話しかけるといやな気持ちになる人や、逆にたくさん話しかけてほしい人など、利用者さんの反応を見ながら相手に合わせてコミュニケーションを工夫することが大事だと学びました。日常生活にも共通することだと思うので、友人や家族と接する時にも気を付けてみようと思います。



大谷中学校3年生
宮山千恵さん(左)・東条碧さん(右)



働く人インタビュー

市内の障がい福祉サービスを行う事業所で働く長田さんと、サービスを利用する前田さん親子にインタビューしました。

福祉の仕事を始めたきっかけ

長田さんにとって福祉の仕事とは

障がいのある方の中でも、少しのサポートが必要なだけで、私たちの生活と大きく変わらない方もいます。福祉の仕事といつても全員に1から10までサポートをする必要はないんですよ。個人の特性や状況に合わせた支援が彼らの暮らしを支えるのだと思います。

福祉の仕事のやりがい

利用者さんのリアクションを直接見られるので、「ミュニケーションが取れたと感じた時はうれしいです。フィーリングですよね。もちろん難しいこともありますが、丁寧なやりとりの成果だと思うとやりがいに感じます。

就職前と後の福祉の仕事の印象

働き始めの頃は、学校で学んだことと現場の状況の違いに苦しました。経験値がないので、毎日必死でした。今は積み上げてきたことが力になつて余裕が少しあってきたので、機会があれば私の経験を伝えたり、この仕事に就きたい人を育てたりしてみたい気持ちも強くなりました。大変さの中にこそ、やりがいと楽しみがあることを伝える活動も必要だと感じています。

就職前と後の福祉の仕事の印象

利用者さんのリアクションを直接見られるので、ミニユニケーションが取れたと感じた時はうれしいです。フィーリングですよね。もちろん難しいこともありますが、丁寧なやりとりの成果だと思うとやりがいに感じます。

利用する人インタビュー



前田建晴さん(左)
前田夕子さん(右)

コ節などの演歌を仲間と一緒に歌うのが好きだよね。
建晴さん うん。

—趣味や余暇活動は？

久子さん 支援学校でティーボールをするのが好きでした。今でも野球を見ることやボールを使わずにジェスチャーで投げ合うことが好きなんです。(建晴さんの投げて打ってのジェスチャーで部屋全体が盛り上がる)

久子さん 家族で食事する時、みんなでコーヒーを飲むんです。

—コーヒーが好き？
(建晴さん頷く)

—サービスを利用して感じることは？

久子さん 安定した毎日を過ごせていると思います。職員さんや利用者さんとの関係は良好で、居心地がいいです。